

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

コモロ連合月報(2015年12月)

主な出来事

【内政】

- 次期大統領・各島知事選挙の立候補届出期間の開始(6日)及び終了(21日)
- 与党UPDCがソイリヒ財政担当副大統領を擁立することを公式発表(19日)
- サンビ前大統領の次期大統領選立候補届の不受理決定(25日)

【外政】

- モハメド外務大臣がCOP21に出席(2日)
- イキリル大統領が第2回中国・アフリカ協力フォーラムに出席、及び習近平国家主席とバイ会談を実施(4日)

【経済・経済協力】

- 2016年予算法が成立(28日)

【内政】

- 2016年大統領選挙: AUによる働きかけ

11月30日、ズマ・アフリカ委員会(CUA)委員長の特使として、キクウェテ前タンザニア大統領がコモロを訪れ、次期コモロ大統領選挙の輪番制を巡る状況、特にサンビ前大統領の立候補問題に関する調査を行った。この特別ミッションに関し内務省官房長は、コモロ政府は国内の平和と安定を保つ為に全力を尽くして行くこと述べた。(1日付 AI-Watwan)

- アンジュアン島知事選挙: 与党擁立候補者の決定

1日、与党コモロ開発連合(UPDC)は、次期島知事選挙(注:投票日は、大統領選挙予備選と同じ2月21日)における、アンジュアン島知事同党擁立候補をチャムシディンUPDC地域幹事に任命したと正式に発表した。(2日付 AI-Watwan)

- 2016年大統領・各島知事選挙: 立候補届の受付開始

5日、ムサイディエ内務大臣は、大統領選挙及び各島知事選挙の立候補届出期間を6日から21日のとすると発表した。(7日付 AI-Watwan)

- グランドコモロ島知事選挙: 与党擁立候補の決定

4日、与党UPDCはグランドコモロ島知事選挙の候補としてムッサ・アマダ・アリアス・アビィ(元税務局長)を擁立すると発表した。(7日付 AI-Watwan)

- 2016年各島知事選挙: JUWA党擁立候補選出選挙の実施

5日、JUWA(注:サンビ前大統領の党)は、各島知事選挙への擁立候補を決定するための党内投票を実施した。グランドコモロ島知事候補には、アメド・アブダラ・サリム元コモロ炭化水素組合会長が、

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

対立候補の元財務大臣及び元内務大臣を破り選出された。(7日付 AI-Watwan)

●次期大統領選挙実施に係る意見交換会

6日、国際社会(国連, AU, EU及びフランス語圏諸国国際機関(OIF))から「輪番制を遵守した2016年選挙の成功」への呼びかけが発出されたのを受け、7日、イキリル大統領は、3副大統領から為る政府執行部側と、国民議会議長、最高裁判所長官、独立国家選挙委員会(CENI)及び各島知事を招集して、次期大統領選挙に係る意見交換会を実施した。大統領府の発表によれば、参加者からは、本選挙プロセスの成功には如何なる努力もいとわないとの意思が表明された。(8日付 AI-Watwan)

●2016年大統領選挙: 外交団との意見交換会

10日、次期選挙への資金支援を行う駐コモロ外交団と各政党代表者との意見交換会が行われた。主な議題は、サンビ前大統領の立候補の取り扱いと輪番制を遵守した選挙の実現についてであった。EU代表として出席したロビー・ジュード駐コモロ大使は、各政党による、憲法裁判所尊重とコモロ憲法遵守の取り組みを評価すると述べた。(11日付 AI-Watwan)

●2016年大統領選挙: サンビ前大統領の立候補表明

16日、JUWAは次期大統領選挙へのサンビ前大統領の立候補を正式に発表した。同前大統領は副大統領候補として、ムマディ・シディ元防衛大臣(グランドコモロ島)、スンハジ元保健大臣(アンジュアン島)及びファド・モハジ現保健担当副大統領(モヘリ島)を指名した。(17日付 AI-Watwan)

●2016年大統領選挙: 財務担当副大統領への支援

17日、次期大統領選挙においてモハメド・アリ・ソイリヒ財政担当副大統領を支持する10の政党が集まり、プラットフォーム結成のための署名式を行った。(18日付 AI-Watwan)

●国民議会選挙: 選挙資金横領疑惑

2015年の国民議会議員選挙の際、選挙資金の横領があったとする最高裁判所会計部の指摘を受け、その責任を問われているアムド・モハメド・ジャザ独立国家選挙委員会(CENI)委員長及びアリ・モハメド同事務局長に対し、委員会内部から辞任を求める声が上がっていた。その後、同会計部の審査が行われた結果、右2名は引き続き同ポストに留まることが決定した。(21日、28日付 AI-Watwan)

●2016年大統領選挙: UPDC擁立候補の発表

19日、与党UPDCは次期大統領選挙の同党候補としてモハメド・アリ・ソイリヒ財政担当副大統領を擁立することを正式に発表した。(21日付 AI-Watwan)

●2016年大統領選挙: オレンジ党・FNUJ同盟

20日、オレンジ党と正義国民戦線(FNUJ)は共同会見を開き、次期大統領選挙での同盟関係を発表

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

すると共に、モハメド・ダウドゥー・アリアス・キキ元税関局長(オレンジ党代表)を同盟の大統領候補として擁立することを発表した。(22日付 Al-Watwan)

●2016年各島知事選挙:立候補届けの破棄

23日、CENIは各島知事選挙の立候補者数を規定より数日前倒して発表した。これによれば、各3島において1候補者ずつが不受理とされ、最終的に届けが受理された立候補者数は、グランドコモロ島及びアンジュアン島が15、モヘリ島が12となった。(22日付 Al-Watwan)

●2016年大統領選挙:立候補者数

22日、次期大統領選挙への立候補届出受付が終了し、最終的に28の候補者リストが提出された。うち、9リストが無所属、1リストが女性候補から提出された。(23日付 Al-Watwan)

●気候変動対策計画の策定

22日、環境・森林総局により、流域の復元による、気候変動下の回復能力強化計画が認められた。イスマエル・バシル総局長によれば、この決定は、同計画案を地球環境ファシリティ(GEF)へ提出するために設けられた作業部会における検討後に行われたもので、流域及び森林の復元を、地域的・国家的事業として行うべく技能及び制度を強化するもの。(25日付 Al-Watwan 紙)

● 国民議会通常会の閉会

国民議会が閉会を迎えた28日、2016年予算法を含む4つの法が成立した。同時に成立したのは、国家海事局の設立及び運営等に関する法、税関に関する法、及び警護及び個人と高性能機器の輸送安全に関する法の3法。最高司法評議会に関する法、在外自国民投票に関する法及び国民議会の内規改正の3法案は先送りとなった。(25日付 Al-Watwan 紙)

●2016年大統領選挙:立候補届けの破棄

25日、憲法裁判所はサンビ前大統領を含む3候補者の立候補届出を不受理とすることを決定した。この内、サンビ前大統領については、「輪番制は、大統領職及びその権限を各島が行使できる可能性を保証するための制度であり、立候補権は該当の島に所属する者にのみ与えられる、(従って、同一の人物が)2つの異なる島から交互にその職を得ることはできない」との判断を示した。その後、この内1名は不服申し立てを行ったが、サンビ前大統領は、不服申し立ては行わなかった。(29日付 Al-Watwan)

●選挙を目前にした軍関係者への呼びかけ

大統領選挙キャンペーン開始を目前に、イキリル大統領は軍関係者に対し「平和裡な選挙と政権交代の実施という責任」を再確認する為の演説を行った。また、イキリル大統領は同演説の中で「年末を家族と共に祝える様にするため」11名(外国籍7名、コモロ国籍4名)に恩赦を与えると発表した。(28

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

日、29日付 AI-Watwan 紙)

【外政】

●ニューージーランド大使との協議

COP21へ出席したモハメド外務大臣は2日、ジョー・ティンダル・ニューージーランド気候変動担当大使と会談し、コモロの国際再生可能エネルギー機関(IRENA)への加盟につき意見を交換したほか、モハメド外務大臣より、ニューージーランドによる地熱開発分野における支援への謝意を表明した。(9日付 AI-Watwan)

●中国からの支援

10日、駐コモロ中国大使館は、国家民間航空・気象局(ANACAM)に対する支援により、115百万コモロフラン(約23万ユーロ)相当の、測候所及び気象関係機材の引渡式を行った。(11日付 AI-Watwan)

●国際障害者デー

3日、国際障害者デーに合わせ、ジュード駐コモロ仏大使はモロニ市長と共に、国内の障がい者を招いた昼食会を開催した。アリ・ムワディ・コモロ障がい者協会事務局長は、このような機会が設けられたのは初めてであるとしてこれを歓迎した。(4日付 AI-Watwan)

●第2回中国・アフリカ協力フォーラムの開催

4日、南アで開かれた第2回中国・アフリカ協力フォーラムの機会に、イキリル大統領は習近平国家主席と会談した。習国家主席はこの場において、中国によるコモロへの経済協力強化、特にインフラ、電気及び漁業面での協力を強化すると述べた。(7日付 AI-Watwan)

●コモロ・サウジアラビア関係

25日、コモロとサウジアラビアの友好関係を祝う夕食会がコモロ政府の主催により開かれた。出席したモハメド外務大臣はサウジ政府による財政支援に謝意を表明したのに対し、モハメド・アルハディリ駐コモロ・サウジ大使は、同国は引き続きコモロを支援していく旨述べた。(28日付 AI-Watwan 紙)

【経済・経済協力】

●テルマからの資金支援

約70億コモロフラン(約14百万ユーロ)の支援額を提示しコモロ第2の通信オペレーターとなったテルマ(注:マダガスカルの電話通信会社。対立候補であったモーリシャステレコムは、約8百万ユーロの支援額を提示していた。)から、同支援資金がコモロに送金された。この内90%は国庫へ、残り10%は国家情報通信技術管理局(ANRTIC)口座に振り込まれる予定。その後14日に正式な確定発表がなされた。(4日、15日付 AI-Watwan)

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

● 融資の多様化に向けた事業実施調査

製造業の後押しを目的として融資対象を多様化させる「コモロの生産セクターに資する包摂的融資計画」の実施調査が、仏開発庁(AFD)の4百万ユーロを上限とした支援により行われている。1週間の調査の結果、漁業、手工業、農業、畜産業、半製造業が対象分野とされた。モハメド・コモロ中央銀行総裁は、地方の製造業者は融資の確保に困難を抱えており、本事業の目的は、銀行が多様な形態の融資を提供できる様にするることであると説明した。(8日付 Al-Watwan 紙)

● 公務員への賃金未払いの解消

9月より未払いになっている公務員の給与について、イキリル大統領は年末までには全額支払われると発表したのに対し、この資金源について、サウジアラビアからの40百万ユーロの財政支援ではないかとの憶測が飛び交っていた。ユスフ・ヤハヤ予算局長は、政府内部資金、税收、その他支援であるとして資金源の詳細を明言することを避けた。(14日付 Al-Watwan 紙)

● 小麦粉不足

国内の小麦粉不足により、パンの生産が大きく制限されている。これまでで既に一日の生産量は10,800本/日から2,700本/日に減少している。(16日付 Al-Watwan)

● 税制改革セミナーの開催

24日、IFMは税務管理担当者を集め、仏とアフリカの国庫管理体制を比較しながら、その中で模範的な事例を抽出し、共有することを目的としたセミナーを開催した。この中でミシェル・ブアIFM代表は、状況改善の為には政治的な意思が必要であると指摘。一方、ウセイニ・アスマニ税・財産管理局(AGID)局長代理は制度的な問題の所在やコモロに合致する対応策を見いだすのに良い機会であったとした。(28日付 Al-Watwan 紙)